

NGWC/WLC パスの MTU ディスカバリ

TAC

ドキュメント ID : 118717

更新日 : Jan 22, 2015

著者 : Cisco TACエンジニア、Yilin WengおよびSurendra BG

 [PDF のダウンロード](#)

 [印刷](#)

[フィードバック](#)

関連製品

• [検索...](#)

内容

[概要](#)

[ネットワーク図](#)

[初期設定](#)

[Dynamic Path Maximum Transmission Unit\(PMTU\)ディスカバリ](#)

[確認](#)

[トラブルシュート](#)

[関連するシスコ サポート コミュニティ ディスカッション](#)

概要

このドキュメントでは、ワイヤレスLANコントローラ(WLC)および次世代ワイヤリングクローゼット(NGWC)のバージョン6.0以上のパス最大伝送ユニット(MTU)検出アルゴリズムの概要について説明します。

ネットワーク図

送信者 (アクセスポイント) – (マルチプロトコルラベルスイッチング(MPLS)/ルータ) – レシーバ (WLC/NGWC)

初期設定

送信側はデフォルトのMTUを検出し、ディスカバリ要求(アクセスポイント(AP))をWLCに送信します。要求のサイズは1500バイトで、Don't Fragment(DF)ビットが設定されています。受信側はこれを受信すると、受信側は別の1500バイトのパケットで応答します。送信側が受信側から応答を受信すると、MTUパスは1500 MTUに設定されます。

受信側がディスカバリ要求を受信しない場合（またはその逆の場合）、MTUは576に設定され、ダイナミック検出プロセスが開始されます。

Dynamic Path Maximum Transmission Unit(PMTU)ディスカバリ

許可されている場合、MTU情報はInternet Control Message Protocol(ICMP)メッセージ内にあり、送信側/受信側はこれを次のMTUとして設定して試行します。情報が得られない場合、送信側/受信側はICMPエラー（上記と同様）を受け取り、初期MTUサイズは576に設定され、動的検出が実行されます。

30秒ごとに、送信側はパスが改善されたかどうかを確認するためにMTUを増やそうとします。送信側は、MTUサイズを576、1006、1492、および1500の次のレベルに増やします。ルータの設定に基づいて、APごとに30秒ごとにこれらのICMPエラーが表示されることがあります。

MPLS上のICMPエラー：

MPLS: ICMP: dst (10.10.10.10) frag. needed and DF set unreachable sent to 192.168.1.5

確認

すべてが正しく動作していることを確認するには、次のコマンドを入力します。

```
3850#show ap config general | b
```

```
CAPWAP Path MTU : 1500  
Controller) >show ap config general  
.  
.  
CAPWAP Path MTU 1500
```

トラブルシュート

問題をトラブルシューティングするには、APスイッチポートでパケットキャプチャを実行します。

このドキュメントは役に立ちましたか? [Yes](#) [No](#)

ご意見をいただき、ありがとうございます。

[サポートケースを作成](#) (シスコサービス契約が必要)

関連するシスコ サポート コミュニティ ディスカッション

[シスコ](#) サポート コミュニティでは、フォーラムに参加して質疑応答、提案など、仲間と情報交換することができます。

ドキュメントの表記法の詳細は、[「シスコ テクニカル ティップスの表記法」を参照してください](#)。

更新日 : Jan 22, 2015

ドキュメント ID : 118717